

学会第7回・第8回研究倫理審査委員会報告

日 時 (第7回) 令和7年3月27日(木) メール会議
(第8回) 令和7年4月3日(木) メール会議
出席者 <委員長> 林 美加子
<委 員> 川口陽子、新谷誠康、中島ひかる、
宮脇卓也、横山敏秀
<役 員> 二瓶智太郎

公益財団法人8020推進財団より、令和7年3月26日付けで申請された研究内容変更申請について、同年3月27日および4月3日にメール会議として審査を行った。

<研究概要>

研 究 名：8020の実態把握に関するパイロット調査
研究実施機関：公益財団法人8020推進財団
研究責任者：副理事長 小林 慶太

協議の結果、各委員から披瀝された意見を踏まえ、申請書類を修正し、4月7日(月)付けをもって本申請は承認された。

(議論の経緯)

- 3月26日(水)に同財団から提出された申請書類(3月26日付け受理)を第7回委員会(メール会議)に諮り、審査を行った。
- 3月31日(月)までに各委員から意見提出がなされ、即日、その修正意見を財団に回答した。
- 4月3日(木)に同財団から提出された修正申請書類を同委員会(メール会議)に諮り、改めて審査を行った。
- 4月7日(月)までに各委員から意見提出がなされ、修正申請書類に対する「異議なし」の見解を踏まえ、林委員長の最終判断に基づき、本変更申請を委員会として承認することとした。
- 4月7日(月)に同財団宛てに委員会の結論を文書「様式2 研究倫理審査結果通知書」(住友会長名)をもって回答した。

(申請書類に対する主な指摘事項の概略)

- 「変更事項」において「承認された研究期間(調査対象者拡大に伴う調査期間延長)」とあるが、変更後の研究期間を明記いただきたい。
- 「変更の理由」欄について、「要介護者も含めた研究対象者数を増やし、高齢者の

口腔保健状況の実態により即した調査結果を得るための変更である」とするなど、
わかりやすく整理をいただきたい。

その後、同申請者より、本委員会の意見を踏まえた修正申請書の提出がなされた。

以上